

# トランサムドローブレーケット取付説明書

取り付け例を示します、艇によって取り付けられない場合がありますので必ず穴を開ける前に取り付け確認を行ってください。  
個人でお取り付けになる場合は専門的な知識のある方やその補助を受けて取り付けてください。  
取り付けに自信の無い方は専門店に取付をお願いしてください。



トランサムに仮当てを行いエンジンを切った時にフーム及びタイヤが当たらないか確認してください。  
基本的にはトランサムドローレーは跳ね上げ後、取り外して船内に收容し走行しますが、跳ね上げて使用する場合は危険のない状態でご使用下さい。

トランサムに仮当てを行いフーム及びタイヤが回転する際にチューブにタイヤが擦れないか見てください。

注意 インレーダブルホートにはJタイヤは取り付け出来ません、タイヤがチューブに干渉します。

タイヤとチューブの隙間を確認します、トランサムドローレーは出来るだけ外に装着した方が安定は良くなります。  
トランサム上部に穴の開いている艇の場合はまずはその穴を利用して装着出来るか確認してください。

## FRP艇への取り付け注意



FRP艇への取り付けは、船体製造メーカー様にトランサムの強度を確認して指定の位置に取り付けてください。  
取り付けの再には写真の様に嵩上げが必要になる場合があります(ガンネルが出ているのでほとんどの艇で必要です)



アルホートやトランサムの薄い船は裏当てをしてボルト、ナット、で固定してください。(ボルト、ナット、は6mmのネジをお買い求めください)



嵩上げをする場合同封のボルト等は使用出来ませんので別途長さの合うボルトをお買い求めください。  
このタッピングビスで取り付ける部分をM6の貫通ボルトに変更します

### 注意！

トランサム形状が円弧形状、極端な傾斜がついている場合は取り付け出来ません。  
(円弧形状の場合はこの嵩上げの木材を斜めに加工してトランサムドローレーが直角に装着出来るようにします)



FRP艇、アルミ艇、用嵩上げスパーサー別途販売しています、左図(ボルト入り) 品番 F822

厚さ30mmのアル角パイプです、トランサムのガンネル(船の淵)が出っ張っている船に付けます。  
ガンネルが30mm以上出ている場合は別途、木製のベース等製作する必要が有る場合も有ります。

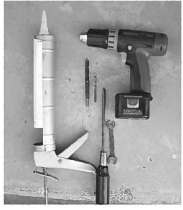
## ● ご使用上の注意

- ① フームを降ろした状態での走行や帰港時の直接乗り上げはしないで下さい。一旦ホートから降りて引き上げて下さい。
- ② 本体の使用荷重はエンジン、装備等含めた船体重量80Kg以内でご使用ください。
- ③ ホート移動の際無理な力で押したり引いたりしないで下さい。基本的には引いて使用しますが移動中に艇によりタイヤに抵抗が掛かる場合がありますのでその場合は押しで使用して下さい。
- ④ 傾斜地では横転の恐れが有りますのでご注意ください。
- ⑤ フームの回転は必ずエンジンを止めて行ってください。走行時は基本的には取り外して下さい。
- ⑥ 定期的にブラケットの取り付け等点検をして下さい。異常が感じられた時は使用を中止して下さい。
- ⑦ タイヤ空気圧は0.8Kg～1.0Kg以下にてご使用ください。
- ⑧ 車内等に入れる場合は多少空気圧を落とし、常時窓を開けて換気してください。
- ⑨ 直射日光の当たる所で保管しないようにして下さい。

梱包内容をご確認の上お取り付けください。

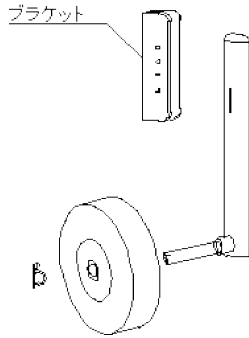
### F900 トランサムドロー

#### A F900用メインフレーム38角シャフト付の組立



#### 用意する工具

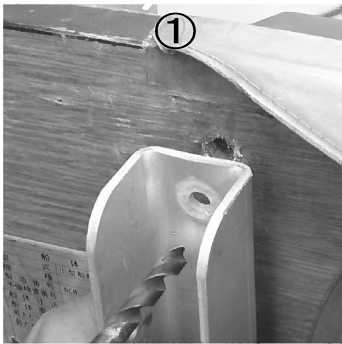
- 電動ドライバー
- スパナ(8mm用)もしくはレンチ
- シーリング剤(一番小さいチューブでも可)
- ドリル+4mmのキリ(船によっては8mmも必要)



- 1) タイヤをシャフトに入れ、ディーリングで止める。
- 2) ブラケットとフレームに固定ピンを通し、Rピンで止める。フレームを回転させた時タイヤが艇に当たらない位置にピンを固定して下さい。



引き上げ棒はロープを通しキャップをはめて組み込みます。使用時はロープを手首に通し落下防止に使用します。



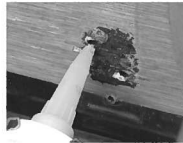
①

トランサムに合わせ、8mmの穴を開けて(穴の有る艇はそのまま利用して)M8 x45ボルトを平W、スプリングW、ナットにて仮固定します。添付のナイロンキャップは完成後ナットに被せます。



②

先に上側を固定します。

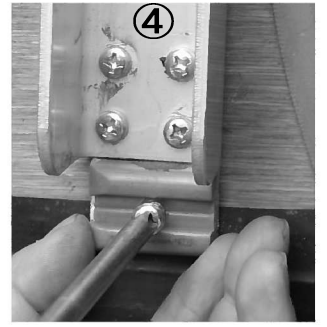


各穴部にはシリコン等水止め剤を注入して下さい。



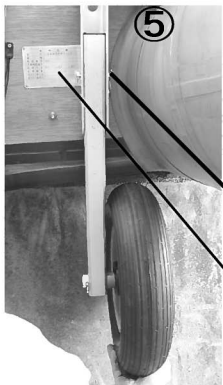
③

ブラケット下部の固定を4mmのドリルで穴けします(インフレーターポートは付属のタッピングビス4本止め、FRP艇は随時適合するM6ボルト2本止めします)



④

当てレールはメインフレームのガタ防止として取り付けます、写真の向きに同封のM6タッピングビス1本で固定します。



⑤

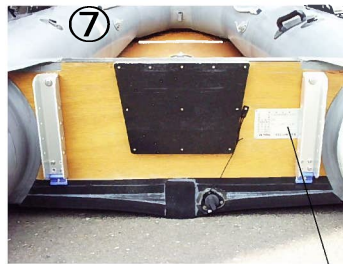
固定ピン

タイヤを持ち上げてタイヤが船底に擦らない位置で固定ピンを止めて下さい。



⑥

指で指示している丸い擦れ止めがタイヤを跳ね上げた時に外側になるようにフレームをセットして下さい、フレームのガタ止めとなります。



⑦

各部のネジを増し締めして作業完了です。船体の注意書、等がフレームにより隠れてしまう場合は、注意書を移動して取り付けてください。

注意書



出艇イメージです

船体の仕様銘板、取扱説明書、記載に干渉する場合があります、可能な場合は移動願います。移動不可の場合はお客様のご判断にて取付願います

#### 跳ね上げ棒の使用方法



跳ね上げ棒の先端のN字部分で車軸を押し下げて写真の様に引き上げて下さい。上下の際には艇外に乗り出さないようにして下さい。

# F821 トランサムドローリーブラケット部品表

このたびはトランサムドローリーブラケットパッキンセットをお買い上げいただきありがとうございます。組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。  
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

品番	部品名	数量
Z840	トランサム用ブラケットのみ(アルマイト付)L=250mm	1
P-TP6-20	SUSプラスナベタッピングビスA6-20	5
P04-8-45	SUS六角ボルト8-45	1
P07-08	SUSナットM8	1
P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	1
P06-08	SUSワッシャーM8	1
P18-16K	M8ナット用キャップビニールF900用	1
P17-16	ボルトM8-55テンゾウナジ(ピン)BYホール、F800/900	1
P13-130	Rピン2.3mm	1
JL104-38	F800/900用当てレール38mmカット	1



コチラのQRコードより  
弊社通信販売にて  
交換部品販売しております。

2022/12

## タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

### TA40F/TA40G/TA40J (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

### TA40A(アルミランチャー、トランサムドローリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

### TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

### 上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPをご覧ください。

### 空気圧換算表

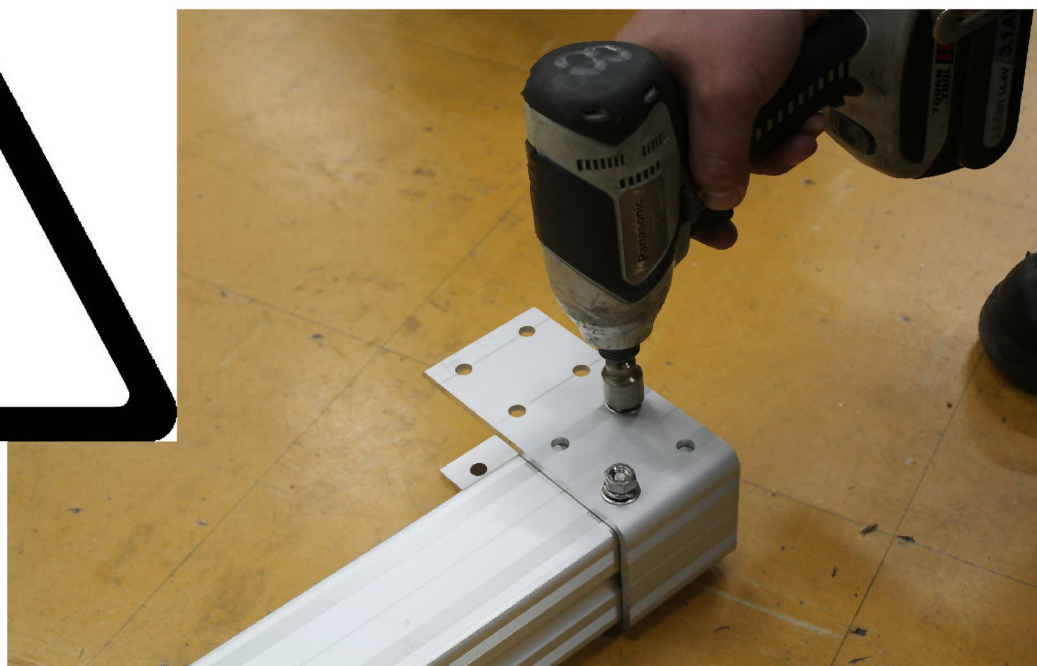
kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1



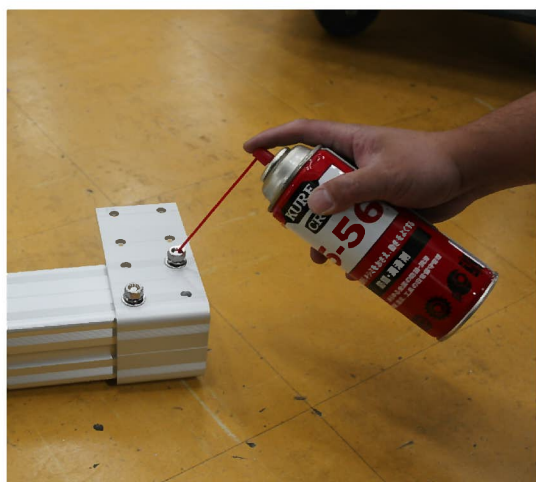
## <<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされています。地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。







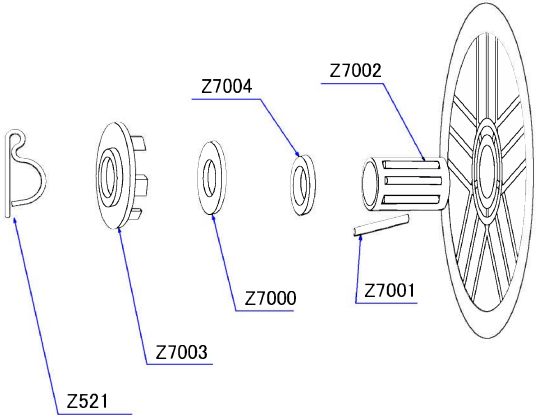
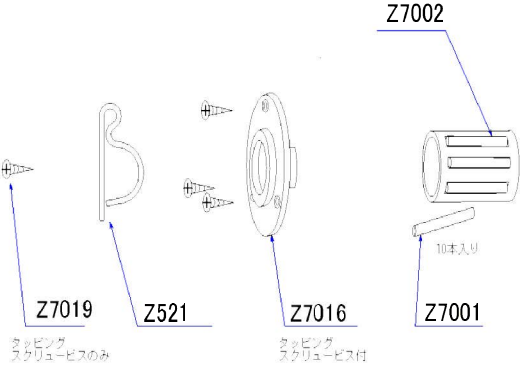
# 急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。

2018年よりTA40系のベアリングが変更になりました。

下記、相違表をご確認ください。

	旧	新
	2017年まで	2018年から
品番	TA30系	TA40系
キャップ色	ブラック	グレー
固定方法	打ち込み式	ビス止め式
キャップ		 ※適宜ゆるんでないか確認してください。
リム形状	 打ち込み式の形状です	 ビス用の穴があります ※穴は2つ並んであります ビスが締め切らなくなりましたら 隣の穴をご使用ください。
部品図	 Z521, Z7003, Z7004, Z7000, Z7002, Z7001	 Z7019, Z521, Z7016, Z7002, Z7001 ※Z7019はスクリュービスのみ ※Z7016はスクリュービス付 10本入り
	部品図のZ7003は TA40系には使用できません	部品図のZ7016は TA30系には使用できません